

事業報告

我が国の経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いている。また、海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある。

農林水産省は一層の農業の成長産業化に向けた改革を実行していくため、平成28年11月、農業者が自由に経営展開をできる環境を整備するとともに農業者の努力では解決できない構造的な問題を解決するための施策を盛り込んだ「農業競争力強化プログラム」を策定し、これら改革の具体化のための法整備、制度の運用改善や民間事業者の自主的な取り組みへの支援を推進している。

バーク堆肥需要は、公共事業の削減等に伴い農業・園芸用肥料や緑化資材など全般にわたって減退が続き、加えて東日本大震災に起因する原発事故による放射性物質汚染が樹皮にも及び、風評被害なども相まってバーク製造業は厳しい状況で推移している。

このような状況のなか、以下の事業に努めてきた。

1 東日本大震災対応

今年3月で未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」から7年を経過し復興は国を挙げての取り組みにより進展している。しかしながら、東京電力福島原子力発電所の被害対策は依然大きな課題である。

バーク堆肥の放射性物質汚染対策として、バーク堆肥関連の放射性物質基準値の徹底とともに、放射性物質汚染樹皮処理に伴う汚染樹皮の拡散防止に努めた。

2 総会・秋期合同現地研修会の開催

(1) 第41回通常総会

ア 日 時 平成29年6月26日（月）

イ 場 所 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館

ウ 議 題

第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算の承認について

第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算の決定について

第3号議案 平成29年度会費の賦課及び徴収方法の決定について

第4号議案 役員の改選について

第5号議案 その他

エ 講 演

(ア)講師 富士見工業株式会社有機資源研究所 総括 金田 雄二 氏

(イ)演題 一土づくりににおける粗大有機物投入意義の再確認—
バーク堆肥の機能性から診た堆肥投入意義の再確認

(2) 秋期合同現地研修会

ア 日 時 平成29年10月19日（木）～20日（金）

イ 参加団体 3団体27名

- ・全国バーク堆肥工業会（9名）
- ・全国土壌改良資材協議会（13名）
- ・全国食品・畜産有機資源リサイクル協会（5名）

ウ 日 程

(ア)19日（兵庫県三木市）

①講演

場所 大栄環境株式会社三木事務所（兵庫県三木市口吉川町榎谷458）

講師 副所長 松本 明利 氏

演題 大栄環境グループとイオンリサイクルセンターグループの概要

②三木コンポストファクトリー視察

案内者 三木事務所 課長 福田洋二氏ほか

③イオンアグリ創造株式会社三木里脇農場視察

案内者 農場長 新井 氏

(イ)20日

①講 演

場所 兵庫県立農林水産技術総合センター（兵庫県加西市別府町南ノ岡甲1533）

講師 兵庫県農林水産技術総合センター農業技術センター

病害虫部主席研究員（植物病理） 西口 真詞 氏ほか

演題 兵庫県での生理的障害、病虫害の現状と対策

3 品質管理の向上

近年、公共事業の減少等から特殊肥料の需要量が減少する一方、農業経営では地力改善において有機質肥料の必要性が高まっている状況の下でバーク堆肥など特殊肥料

に対する品質管理の適正化が強く求められている。

有機質肥料であるバーク堆肥は、品質管理を徹底し、安定した製品として需要者に信頼されることが重要であり、当工業会は研修会や会員相互の連携や研鑽等を通じて品質管理の徹底と向上に取り組んだ。

加えて、有機質肥料の原料となるバークや木質系廃棄材の受取時の厳選、バーク堆肥の製造過程における品質管理の徹底にも努めた。

4 需要拡大の推進

バーク堆肥は、土づくりとしての土壌改良資材、建設工事等の緑化資材や基盤材及び園芸用資材として、それぞれの業界や植物愛好者に利用されている。

当工業会は、バーク堆肥の需要拡大について、農林水産省など関係行政当局に対してバーク堆肥生産の現状と課題等を説明し、指導を仰いできた。

また、東日本大震災や一昨年の熊本地震や近年多発している山地災害等の復旧事業にバーク堆肥の積極的活用が図られるよう、林野庁長官等幹部に対して「災害復旧事業等治山事業へのバーク堆肥の積極的活用」について要請活動を行った。

このほか、建設関係や農業関係団体と連携してバーク堆肥の普及を図るとともに建設物価資材、積算資料及び土壌協会広報誌等にバーク堆肥に関する資料を広告掲載した。

なお、行政当局、一般需要者や関係業者からの要請や問い合わせに対しても適切に対応し、バーク堆肥の普及と需要拡大に努めた。

5 関係団体等との連携

農林行政当局の指導・助言を受けるとともに、「全国土壌改良資材協議会」、「東京肥料品質保全協議会」、「全国食品・畜産有機資源リサイクル協会」、「NPO法人日本バーク堆肥協会」等関連団体とともに、バーク堆肥の普及と需要拡大に努めた。

また、バーク堆肥と複合した新商品の開発、廃棄物の利用について、「全国食品・畜産有機資源リサイクル協会」等関係団体との連携に努めた。

なお、「一般財団法人建設物価調査会」のバーク堆肥販売価格の調査等についても協力した。

6 軽油引取税の課税免除の特例措置延長への取組み

軽油引取税の課税免除の特例措置の延長について、木材関係団体やNPO法人日本バーク堆肥協会と連携を図り、林野庁、自由民主党税制調査会等へ働きかけを行い、その結果、12月に、平成30年4月以降、3年間延長の実現が図られた。

このほか、林野庁の要請に基づき、木材産業（バーク堆肥製造業）における税制特例の効果について、会員への調査依頼及びその結果の報告を行った。

7 組織の充実・強化

本年度は新会員の入会は無かったものの退会が1社あり、3月31日現在の会員は14社となった。

8 情報提供等

- (1) 肥料取締法、土壌改良資材情報等の収集・提供
- (2) 土壌改良資材生産量の調査・集計
- (3) 合法伐採木材の流通及び利用の促進に関する法律(クリーンウッド法)の施行等に関する情報提供
- (4) 平成29度全国安全週間労働衛生週間の周知
- (5) 労働災害発生状況の情報提供
- (6) その他バーク堆肥に関する情報の収集・提供 等

9 活動状況

月	日	内 容
4	3	木材チップ市況需給動向調査
	12	林政基本問題検討委員会傍聴（自由民主党本部）
	13	木材サミット連絡会（大建工業（株）、秋葉原）
	25	当工業会事務所移転（渋谷区神山町 → 文京区後楽）
	26	
5	2	木材チップ市況需給動向調査
		〃 全国チップ工業連合会会計監査（当連合会事務室）
	16	日本繊維板工業会60周年記念パーティー（霞ヶ関ビル、東海倶楽部）
	18	（一社）全国木材組合連合会総会（メルパルク東京）
	19	（一社）林業機械化協会総会（林友ビル）
	20	全国素材生産業協同組合連合会総会（ホテルエドモント東京）
23	全国木材チップ工業連合会平成29年度第1回理事会・第61回総会（林友ビル）	
6	1	木材チップ市況需給動向調査
	13	全国バーク堆肥工業会会計監査（当工業会事務室）
	15	林業退職金共済運営委員会（コープビル）
	16	宮城県木材チップ工業会総会（仙台市）
	19	林材業ゼロ災推進中央協議会会計監査（コープビル、全国森林組合連合会内）
	23	クリーンウッド法情報交換会（（一社）全国木材組合連合会、永田町ビル）
		〃 林業団体懇談会（森林・林業白書説明、永田町ビル）
	26	全国バーク堆肥工業会総会（日本教育会館）
	〃 林材業ゼロ災推進中央協議会総会（商工会館）	
7	3	木材チップ市況需給動向調査
		〃 木材サミット2017（大建工業（株）、秋葉原）
8	1	木材チップ市況需給動向調査
	8	日EU・EPA交渉の大枠合意に関する説明会（林産物）（日本消防会館）
	28	林産物貿易対策全国協議会総会（永田町ビル）
9	1	木材チップ市況需給動向調査
		〃 国有林材販売に係わる提案募集説明会（マーケットサウンディング） （林野庁9F会議室）
	12	燃料需給バランス検討委員会（（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会、 5東洋海事ビル、新橋）
	21	林野庁陳情（災害復旧事業等治山事業へのバーク堆肥の積極的活用）
	27	林業団体懇談会（平成30年度概算要求予算等、永田町ビル）
28	木材チップ市況需給動向調査	
	3	林材業ゼロ災推進中央協議会林業部会・木材製品部会合同部会（林友ビル）
	4	（一社）全国木材組合連合会臨時総会（木材会館）

10	18	第2回原木等需給情報共有化対策事業検討委員会 ((一財)日本木材総合情報センター、林友ビル)
	19	}
	20	全国バーク堆肥工業会秋期合同研修会 (兵庫県内)
	31	全国木材チップ工業連合会第2回理事会 (林友ビル)
11	1	木材チップ市況需給動向調査
	8	宮崎みどり製薬(株)研修会 (ホテルメトロポリタン東京)
12	1	木材チップ市況需給動向調査
	4	発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン等 説明会 (林野庁主催、中央合総庁舎4号館)
	8	軽油引取税の課税免除の特例措置延長の陳情 (上川法務大臣)
	21	軽油引取税の課税免除の特例措置延長決定のお礼 (林野庁、(一社)日本林業協会、(一社)全国木材組合連合会)
28	木材チップ市況需給動向調査	
1	4	新年賀詞交歓会 (三会堂ビル)
	19	クリーンウッド法に係る基礎調査報告会 (林野庁)
	22	燃料需給バランス検討委員会 ((一社)日本木質バイオマエネルギー協会、 港区生涯学習センター)
	23	第3回原木等需給情報共有化対策事業検討委員会 ((一財)日本木材総合情報センター、林友ビル)
30	合法木材供給事業者認定団体研修会 ((一社)全国木材組合連合、木材会館)	
2	1	木材チップ市況需給動向調査
	2	林業団体懇談会 (平成30年度予算等、永田町ビル)
	23	(一社)日本林業協会総会 (法曹会館)
3	1	木材チップ市況需給動向調査
	8	全国木材チップ工業連合会第3回理事会 (林友ビル)
	12	岐阜県木材チップ工業会部会 (ぎふ森林文化センター)
	23	林業退職金共済運営委員会 (コープビル)
	29	}
	30	(一社)全国木材組合連合会理事会等 (木材会館)